



学校だより

小和田小学校

令和5年5月号

学校教育目標

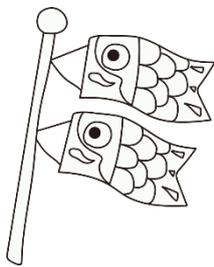
「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

学校経営方針

一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

学級懇談会・家庭訪問ありがとうございました。

校長 大野 洋



新学期がスタートして1か月が経とうとしています。学校の木々は桜のピンクから新緑の緑へと色が変わり、すがすがしい気持ちにさせてくれます。子どもたちは、進学や進級で新たな環境となり張り切っていたと思います。知らずのうちに疲れがたまっているかもしれません。このあと連休に入りますが、そのような意味でも休み中も健康観察を行っていただき、必要に応じて体を休めるなどして、運動会練習が始まる5月も元気よく過ごせればと思います。新型コロナウイルスに関し

ては、5月8日より5類に分類されることになるようですが、全くなくなっただけではありません。引き続き換気や手洗い等対策を行った上で、教育活動を継続してまいります。

保護者の皆様には、年度初めの忙しい中、学年学級懇談会や家庭訪問へのご協力ありがとうございます。お子様の成長のためご家庭と学校が両輪となってまっすぐ前に進んでいけるよう、顔の見える関係づくりをと考えております。今後ともよろしく申し上げます。そして、担任がいただいたお話は今後の教育活動に生かしてまいります。

避難訓練

「天災はいつやってくるかわからない。」言葉の通りいつ起こるかわからない地震や火事に対して、年度初めのこの時期に、避難の仕方の基本がわかるよう津波を想定した地震避難訓練と火災避難訓練を全校で行いました。

地震避難訓練では、各教室にて退避行動を行った後、津波を想定して1・2階のクラスは3・4階の教室に避難し、3・4階の教室では、机椅子を寄せて受け入れるスペースをつくりました。無駄なおしゃべりなく落ち着いて階段を並んで上がり、避難できました。また、各教室では2クラス分の児童が避難したわけですが、次の放送や指示が聞けるよう静かに待つことができました。

火災避難訓練は、給食調理場の出火を想定して行いました。緊急放送を流し、実際の時と同じような環境で行いました。子どもたちは黄色いヘルメットをかぶりクラス毎に整然と並んで、校庭の北側の本部をめざし避難しました。その後静かに火災避難に関する話を聞くことができました。今年度、初めて890名ほどの全児童が一所に集まったのですが、あらためて多いと実感しました。その児童一人残らず安全に避難できるよう今後も休み時間を想定した避難訓練や不審者対応訓練そして保護者に皆様にも参加していただく引き取り訓練等行ってまいります。ご理解とご協力よろしく申し上げます。

